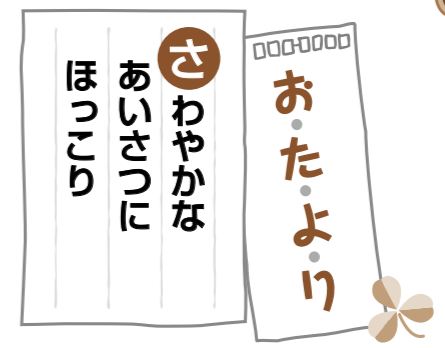


ちやい

みんなのページ



安心して
赤ちゃんと
外出できます

今年第3子が生まれました。長男は9歳、次男は7歳。間があいて、また一からのスタートです。

次男の時と比べると、子どもが利用できる場所（赤ちゃんルームなど）が増え、とても「きれい」になったと感じています。赤ちゃんは何でも口に入れてしまうので、きれいが何よりですね。

買い物に行っても、おむつを換える場所がこのトイレにも設置してあるので便利です。赤ちゃんと一緒でも、とても動きやすく、外出しやすくなり、うれしく思っています。（総社・女性）



津山に観光に訪れた時のこと。とても感心したことがあったのでお便りします。津山の高校生はとても気持ちのよいあいさつができます。わたしの街では、若い人から声を掛けてくれることなどはほとんどないので、あいさつされた時にはビックリすると同時に、とてもさわやかで温かい気持ちになりました。我々大人も見習わなければいけませんね。（大阪府・女性）

つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」

“バイブル”となるような本との出会いを

推薦者
佐古 楓さん(東一宮)
「赤毛のアン」
L・M・モンゴメリ著
松本侑子訳(集英社)



好奇心旺盛で想像力豊かな少女・アンが、生涯の友と出会い、楽しい事件を次々と起こしていく中で、すてきな女性に成長していく姿を描いた『赤毛のアン』は、わたしにとって“バイブル”のような存在です。
小学生の時にアニメで知り、それから原作を読みました。その後、中学、高校、大人になってからと、何度も読み返し、その度に自分の道を切り開いていくアンに元気をもらいました。

小学生の時は物語の中に登場する風景やお菓子などに異文化を感じ、ワクワクしながら読みました。思春期真っただ中の中学生になると、友だちや異性との関係について共感を覚えました。大人になってから読むと、コンプレックスを乗り越え、本当の価値を見だしていく姿に勇気づけられました。そして、親になってからは、子どもを育てる側の目線で読んでいます。

娘たちも本が大好き。いずれ『赤毛のアン』も読んでほしいと思っていますが、自分の“バイブル”になるようなすてきな本に出会ってくれたらいいなと思っています。



佐古さんと3人の娘さん ▶ (左から千世子ちゃん、百恵子ちゃん、万由子ちゃん)

きらめく津山人

土人形を通して、津山の魅力を発信

土人形展示会「歌舞伎を演じる土人形たち」代表
杉元 耕司さん(小田中)



郷土玩具の収集家として30年以上の収集歴をもち、津山にゆかりの深い歌舞伎の舞踊「津山の月」をヒントに土人形を使ったまちおこしに取り組む杉元さんにお話を伺いました。

土人形に出会ったきっかけは？
最初は扇やコマ、細工物といったそれぞれの地方、地域で昔から作られ、そこに根付いた郷土玩具の面白さにひかれて収集を行っていました。そのうち、その地域で作られてきた土人形の「素朴」で「不細工」な魅力に引かれていきました。

元々、土人形は農閑期に農家が

街道はまさに阿国の上洛下洛の道ともいえる街道なのです。そこから、歌舞伎を演じる土人形を皆さんに見てもらおうことで「津山」という町を知ってもらえるのではないかと、県内外で展示会を行っています。今後はどのような活動をしていきたいですか？
「津山の月」のほかにも歴史上、津山が登場する話があります。「忠臣蔵」もその一つ。四十七士のうち神崎与五郎や茅野和助、横川勘平は津山の出身ともいわれています。忠臣蔵を題材とした展示会をするのも面白いですね。土人形を通して、広く津山



▲人形を前に思いを語る杉元さん

を知ってもらえる活動をこれからも続けていきたいです。
所狭しと展示されている郷土玩具や土人形の量には圧倒されます。土人形を一つひとつ手に取りながら熱心に思いを語る杉元さん。人形を見詰めるまなざしはまるで少年のようにイキイキと輝いていました。

藪内 慎吾さん(鶴山中3年) 全国中学校体育大会 第41回柔道大会 81キロ級 3位



8月に鳥根県で開催された「全国中学校体育大会第41回柔道大会」の81キロ級で第3位に入賞した藪内さん。
兄弟全員が柔道に取り組む柔道一家。小学5年生の時には「全国小学生学年別柔道大会」で優勝した経験もあるとのこと。「勝った時のうれしさは格別なので、厳しい練習にも負けないで取り組むことができます。今回の大会は気負ってしまって自分の柔道ができませんでした。次は、技と精神面を鍛えて、日本一になりたいです」とはにかんだ笑顔に強い意志をのぞかせていました。